

令和5年度広島県観光統計調査等業務委託仕様書

1 事業の目的

観光統計の作成、観光振興施策の効果検証及び戦略立案に活かすためのデータ収集やモニタリングを行うとともに、一般社団法人広島県観光連盟（以下、HIT とする）の総合戦略を踏まえた上で、複数のデータを組み合わせた専門的な分析を行う。

2 委託期間

契約締結の日から令和6年3月31日まで

3 委託業務の概要

（1）インターネットを用いた観光消費額単価等調査

指定する条件に基づき、広島県の観光統計の基礎データとなる観光入込客の観光消費額単価、平均訪問地点数、満足度等をインターネットを用いて調査するとともに、本県を訪れる日本人観光客の動向を分析すること。

（2）県民向け観光振興に関する住民満足度調査

指定する条件に基づき、インターネットを用いたアンケート調査により、本県在住者における本県の観光振興に対する効果認知及び住民満足度等を調査し、分析すること。

（3）観光客向け再来訪意向度等調査

指定する条件に基づき、インターネットを用いたアンケート調査により、県外在住者の観光マインド及び本県への再来訪意向度等を調査し、分析すること。

（4）日本人観光客数の推計

GPS を活用した人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」等のデータを用い、本県における日本人観光客数の推計を行うこと。

（5）調査結果の分析

インターネットを用いた観光消費額単価等調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査及び観光客向け再来訪意向度等調査の各設問に対して属性等とのクロス集計を行い、それらの結果や日本人観光客数の推計値等を分析の上、調査報告書に取りまとめること。なお、HIT が行う各調査から得られるデータを最大限活用し、総合的に分析・報告を行うこと。

4 業務内容

（1）インターネットを用いた観光消費額単価等調査

ア 調査の設計及び実施

（ア）調査方法

大規模パネルを活用したインターネット調査とすること。

（イ）調査時期及び対象者

次表のとおり実施すること。実施にあたっては、調査に最適な母集団（パネル）を複数候補の中から選定の上、その理由とともに HIT に提案すること。また、対象者については、選定した母集団の特性、本県における観光客のエリア別客数及び発地等を参考にして割付などを行い、スクリーニング調査を実施の上、適切な調査結果が得られるよう

調整すること。なお、スクリーニング調査については、各回 30,000 サンプル程度を想定するが、出現率等に応じ必要なサンプル数が獲得できるよう HIT と協議の上で調整すること。

回次	実施時期	対象者
第1回	令和5年5～6月頃	令和5年4～6月に本県において旅行を実施した者
第2回	令和5年8～9月頃	令和5年7～9月に本県において旅行を実施した者
第3回	令和5年11～12月頃	令和5年10～12月に本県において旅行を実施した者
第4回	令和6年2～3月頃	令和6年1～3月に本県において旅行を実施した者

(ウ) 調査項目及び画面の設計

i 調査項目の設計

以下を参考に、HIT が実施した過去の調査や他調査とも関連付け、総合的に分析できるよう調査項目を調整すること。なお、スクリーニング調査は 15 問程度、本調査は 40 問程度を想定しているが、HIT と協議の上で調整すること。

[調査項目例]

- ・旅行者属性（性年代、居住地及び年収等）
- ・旅行先（訪問都道府県、県内訪問地点及び宿泊先等）
- ・訪問地点数
- ・滞在日数
- ・消費金額（入場・体験料、宿泊費、土産代、飲食費、県内交通費、その他）
- ・満足度、再訪意向度、ストレス度及び推奨度（県全体）
- ・リピーター調査（本県訪問回数及び前回来訪時期等）
- ・旅行形態（同伴者、同行者数、目的）
- ・予約方法及び時期（観光地点、宿泊施設、交通等別）
- ・情報源（旅行前、旅行中及び旅行後）
- ・本県の前後に周遊した都道府県
- ・満足度要因（満足度が高かったもの及び低かったもの）
- ・旅行頻度（感染症拡大前及び拡大後）
- ・旅行の際の重視点

※スクリーニング調査等を活用し、本県以外を旅行した人との比較ができるよう工夫すること。

ii 調査画面の設計

Web 上で表示する調査画面を制作し、HIT と協議の上回答フォームを確定させること。なお、PC 及びスマートフォンにて回答者が設問内容を理解しやすく、正確な回答が得られやすい画面配置及び構造となるよう、調整を行うこと。

(エ) 獲得数

有効回答数が 1,000 サンプル以上となるようにすること。ただし、対象期間における観光客数の減少等によりやむを得ない場合は、HIT と協議を行いサンプル数を調整の上、決定すること。

イ データクリーニング及び集計表の作成

調査により得た 1 次データのクリーニング及び各設問に対する属性等とのクロス集計を

行い、Excel の表形式でとりまとめること。

(2) 県民向け観光振興に関する住民満足度調査

ア 調査対象の設定

調査方法はインターネット調査とし、調査に最適な母集団（パネル）を複数候補の中から選定の上、その理由と共に HIT に提案すること。HIT と協議の上、選定した母集団の特性及び本県人口移動統計調査（第 5 表-1 及び第 6 表）を参考にして居住市町及び性年代による割付等を行い、本県在住者の性別及び年代、居住地（市区町）が自然分布に近い形となるよう、設計すること。

イ 調査項目及び画面の設計

(ア) 調査項目の設計

下記の例を参考に、HIT が実施した過去の調査や他調査とも関連付け、総合的に分析できるように調査項目を調整すること。

[調査項目例]

項目	項目詳細・選択肢等
性別及び年齢	モニター情報より取得する。
居住地	モニター情報より取得し、不能な場合は郵便番号を記入させる。
観光関連従事の有無 ※選択式	観光関連の仕事・学業に携わっているかどうかを調査する。 選択肢：①はい ②いいえ
施策認知度	令和 5 年度の施策について説明した上で、それらの認知度を調査する。
観光客との接点の有無	居住地域で観光客（日本人観光客及び外国人観光客）を見かけることがあるかどうかを調査する。
生活環境への影響 ※選択式 ※当てはまるものすべて選択、そのうち最も当てはまるものを 1 つ選択	観光振興により影響があると感じていることを調査する。 選択肢： ① インフラ（道路、案内表示、トイレ等）が整備される ② 文化や自然が保存・受け継がれる ③ 地域の経済、雇用、産業が促進される ④ 人や文化の交流の機会が増える ⑤ 知名度の向上や誇りにつながる ⑥ 観光・体験スポットが増える ⑦ 道が渋滞したり、電車・バスが混雑したりする ⑧ 街並みや景観が損なわれる ⑨ 自然や文化に悪影響が出る ⑩ マナーや治安が悪化する ⑪ 感染症の拡大につながる可能性があり、不安だ ⑫ その他
施策満足度 ※11 段階（0～10）	
施策要望 ※選択式 ※当てはまるものすべて選択、そのうち最も当てはまるもの	選択肢： ① 国内や海外における知名度向上 ② 観光地におけるインフラ（道路、案内表示、トイレ等）の整備 ③ 観光施設や体験メニューの数の増加 ④ 観光客のマナーや治安悪化対策（騒音、ゴミのポイ捨て、トイレ利用等）

を1つ選択	⑤ 電車・バスや乗用車等，交通の混雑対策 ⑥ 飲食店の混雑対策 ⑦ 宿泊施設の多様化 ⑧ 感染症対策 ⑨ 観光に関する取り組みを行ってほしくない ⑩ その他
住民満足度 ※11段階（0～10）	

（イ）調査画面の設計

Web 上で表示する調査画面を制作し，HIT と協議の上回答フォームを確定させること。
なお，PC 及びスマートフォンにて回答者が設問内容を理解しやすく，正確な回答が得られやすい画面配置及び構造となるよう，調整を行うこと。

ウ 調査の実施

（ア）実施時期

令和6年1～3月

（イ）調査数

有効回答数 1,000 票以上

エ 集計等

得られた回答の1次データクリーニング及び集計表（調査項目ごとに属性等とのクロス集計を行ったもの）の作成を行うこと。

（3）観光客向け再来訪意向度等調査

ア 調査対象の設定

調査方法はインターネット調査とし，調査に最適な母集団（パネル）を複数候補の中から選定の上，その理由と共に HIT に提案すること。選定した母集団の特性，おでかけウォッチャーによる観光客の発地，国が行う生活基礎調査などを参考にして割付等を行い，本県訪問者の性別，年代，居住地（エリア）及び年収が自然分布に近い形となるよう，設計すること。なお，本調査においては，令和5年1～12月に本県への訪問経験がある者を対象とし，必要に応じてスクリーニング調査を行うこと。

イ 調査項目及び画面の設計

（ア）調査項目の設計

以下の「設問及び項目詳細・選択肢等」を参考に，HIT が実施した過去の調査や他調査とも関連付け，総合的に分析できるよう調査項目を調整すること。なお，特に，（1）のインターネットを用いた観光消費額単価等調査との連携を意識し，観光客の傾向やニーズ把握に必要な情報を補完できる調査項目とすること。

[調査項目例]

設問	項目詳細・選択肢等
性別及び年齢	モニター情報より取得する。
居住地	モニター情報より取得し，不能な場合は郵便番号を記入させる。
直近の本県訪問時期	選択肢：

	1 年以内, 2 年以内, 5 年以内, 5 年より前, 訪れたことはない
同伴者	選択肢: 家族 (子供連れ), 一人, 夫婦・パートナー, 恋人 (カップル), 友人, その他
訪問目的	選択肢: ビジネス, 観光, 帰省・知人訪問, その他
満足度	選択肢: 11 段階 (0~10)
ストレス	ストレスなく観光ができたか調査する。 選択肢: はい, いいえ いいうの場合: ストレスを感じた場面を選択させる。 ① 交通・移動 (案内標識, アクセス, 駐車場等) ② 情報取得 (情報入手, わかりやすさ, 案内所等) ③ 食事 (品揃え, 営業時間等) ④ 買い物・土産 (品揃え, 営業時間等) ⑤ 環境 (WiFi, トイレ, ロッカー, 安全安心対策, 多言語対応等) ⑥ 地元の人との交流 (観光ボランティア) ⑦ その他
再訪意向 ※11 段階 (0~10) 及びその理由を 1 つ 選択	理由の選択肢: ① まだ訪れたことのない本県の他の観光地を訪れたい ② 訪問した観光地を十分に楽しみ尽くせなかったので, 再度訪れたい ③ 訪問した観光地が非常に満足できたので再度訪れたい ④ 訪問した観光地が非常に満足できたので家族・知人・友人を連れてきたい ⑤ 訪問した観光地が不満だったから ⑥ 本県の観光地を十分に楽しみ尽くして他に行くところがないから ⑦ 他に訪れたい場所があり優先順位が低いから ⑧ その他
旅行の際の重視点 ※当てはまるものすべて選択, そのうち最も当てはまるものを 1 つ選択	過去に HIT が実施した調査の調査票を参照の上, 協議の上で選択肢を作成する。
コロナ前の旅行頻度	選択肢: 1 年間に 1 回, 2~5 回, 6 回以上, 行っていない
広島への訪問経験	選択肢: 1 回, 2 回, 3 回, 4 回以上, 行っていない
お気に入りの旅行先	47 都道府県から 1 つ選択させる。

(イ) 調査画面の設計

Web 上で表示する調査画面を制作し, HIT と協議の上で回答フォームを確定させること。なお, 回答者が設問内容を理解しやすく, 正確な回答が得られやすい画面配置及び構造となるよう, 調整を行うこと。

ウ 調査の実施

(ア) 実施時期

令和 6 年 1 月頃

(イ) 調査数

有効回答数 1,000 票以上

エ 集計等

得られた回答の1次データクリーニング及び集計表（調査項目ごとに属性等とのクロス集計を行ったもの）の作成を行うこと。

（４）日本人観光客数の推計

ア データのダウンロード

GPS を活用した人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」より，HIT が指定するデータを月1回，指定期間分ダウンロードすること。なお，「おでかけウォッチャー」を閲覧するためのアカウントは HIT が提供することとし，具体の作業手順は別途指示する。
[ダウンロード予定項目（年間）] ※変更の可能性あり

- ・ スポット別来訪者数
スポット別来訪者数データ×365 日（回）
- ・ 市町別実来訪者数
市町別実来訪者数データ×12 か月（回）
- ・ 月別発地情報
発地都道府県別来訪者数データ×30 市区町（回）×12 か月（回）
- ・ 性年代情報
市町別性年代別来訪者数データ×12 か月（回）
- ・ 月別周遊情報
スポット間周遊者数データ×12 か月（回）
- ・ 発地距離別来訪者数
来訪者数データ×距離別4 区分（回）×30 市区町（回）×12 か月（回）

イ データ加工

アにおいてダウンロードしたデータを項目ごとに1つの Excel ファイルにまとめた上で，HIT が別途提供する観光地点名簿から指標の推計時に必要な情報（当該観光地点の所在エリア名及び市町名，当該観光地点のジャンル，イベント性の有無，観光客数推計対象施設の判別フラグ，曜日及び特記事項等）を1,700 か所分転記または付加し，ピボット集計や Tableau への取り込みが可能な形式に整備するとともに，HIT に月1回共有すること。なお，具体の作業手順は別途指示する。

ウ 指標の推計

イで整備したデータを用い，本県における日本人観光客数の推計を月1回，HIT が指示する期日までに行い，Excel ファイルに結果をまとめること。なお，推計方法及び具体の作業手順については別途指示する。

[推計予定項目] ※変更の可能性あり

- ・ 月別観光客数
イで整備したデータから集計対象となる観光地点を抽出し，各観光地点の来訪者数の合計値を足し上げて市町別及び県全体の延べ人数を算出する。
- ・ 発地別観光客数
イで整備したデータのうち，市町ごと及び県全体の来訪者数を発地エリア別に集計する。
- ・ 目的別観光客数
イで整備したデータから集計対象となる観光地点を抽出し，目的別に来訪者数の合計値を足し上げて市町別及び県全体の目的別観光客数を算出する。
- ・ 曜日及び平日／休日別観光客数
イで整備したデータから集計対象となる観光地点を抽出し，曜日別に来訪者数の合

計値を足し上げて市町別及び県全体の目的別観光客数を算出する。

- ・ 性年代別観光客数（市町別及び県全体）
イで整備したデータのうち、市町ごと及び県全体の来訪者数を性年代別に集計する。
- ・ 発地距離別観光客数
イで整備したデータのうち、市町ごと及び県全体の来訪者数を発地距離別に集計する。
- ・ 市町内周遊観光地点数
市町別観光客数の延べ人数を市町別観光客数の実人数で除し、市区町別での市町内周遊観光地点数を算出する。

エ その他

ア～ウについて、初回は指定する期日までに、過去分（2019年1月以降、ただし性年代に関することについては2021年1月以降）についてもあわせて実施すること。なお、一部データはHITより提供する。

（5）調査結果の分析

インターネットを用いた観光消費額単価等調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査及び観光客向け再来訪意向度等調査の各設問に対して属性等とのクロス集計を行い、それらの結果や日本人観光客数の推計値等をもとに分析の上、調査報告書に取りまとめること。また、HITが実施している関係者（市町及びDMO等）とのミーティングにおいて、取りまとめた結果の説明会を実施できるよう調整すること。なお、説明会の実施時期については、HITと協議の上調整すること。

〔条件〕

- ・ 集計、分析及び調査報告書の項目については、下記を参照の上決定し、HITの確認を得ること。なお、それぞれの項目について、データ上の前年との増減比較やその要因に関する分析等を行い、コメントとともに表やグラフ等を使用しながら取りまとめること。なお、データ分析や要因分析が不十分と認められる場合は、再提出を求めることがある。
- ・ インターネットを用いた観光消費額単価等調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査及び観光客向け再来訪意向度等調査の3区分、ならびにそれらと日本人観光客数の推計結果も含めた総合的な分析（各調査を関連付けた分析及び今後の改善点等の提案を含む）を盛り込むこと。なお、他県及び他市町での調査事例や結果状況を適宜とりまとめて報告し、それらを本業務にも活かすことで、本県やHITに最適な分析及び提案を行うこと。
- ・ 過去の調査分から連続したデータ蓄積及び分析となるよう調整すること。
- ・ 観光消費額に関わることについては、国や県市町等が行う観光キャンペーン（GoToキャンペーン等）による割引を勘案した金額（割引前の金額）についても推計すること。
- ・ インターネットを用いた観光消費額単価等調査部分については、1年分（令和5年1～12月分）について、四半期ごと及び年間の結果を併記しながら取りまとめること。なお、令和6年1～3月分についてもあわせてとりまとめ、添付すること。ただし、令和5年1～3月分の1次データはHITから提供する。

ア インターネットを用いた観光消費額単価等調査報告項目例

分析項目	調査概要
	観光客の属性(居住地、日帰り／宿泊別、性別、年齢)
	観光の形態(同行者、日帰り／宿泊別、泊数)
	観光行動(観光目的、主な情報源、予約、周遊観光地点数)

	旅の重視点
	リピート率(都道府県リピート回数)
	観光消費額(県全体, エリア別)
	満足度, 推奨度(県全体, 観光地点別)
	ストレス度, 再訪意向(県外客のみ)
	プロダクト造成及び受入環境に関すること
	他地域との比較, 本県の優位性, 強み
	インターネット調査を活用した状況把握時の留意点

イ 県民向け観光振興に関する住民満足度調査報告項目例

分析項目	調査概要
	観光とのかかわり(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	施策認知度・満足度・要望(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	生活環境への影響(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	施策要望(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	本県の推奨度(居住地, 性年代, 観光従事の有無別)
	住民満足度

ウ 観光客向け再来訪意向度等調査報告項目例

分析項目	調査概要
	本県訪問回数・時期(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	観光の形態(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	ストレスの有無, 場面(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	満足度, 再訪意向(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	旅行頻度(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	旅行の際の重視点(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)
	お気に入りの旅行先(回答者属性, 旅行頻度, 重視点別)

エ 日本人観光客数の推計結果報告項目例

分析項目	概要
	作業工程
	各項目における推計結果
	各項目における過去との状況比較

5 成果品の納入

(1) 1次データ

名 称	説 明	納入媒体	部数	納入期限等
インターネットを用いた観光消費額単価等調査 1次データ ※四半期及び1年分	4 (1) イ	電子データ (Excel 形式)	各 1	○四半期ごと ・ 4～6月分: 7/31 ・ 7～9月分: 10/31 ・ 10～12月分: 1/31 ・ 1～3月分: 3/31 ○1年分 (令和5年1月～12月分の合体版): 1/31
県民向け観光振興に関	4 (2) エ	電子データ	各 1	令和6年3月31日

する住民満足度調査 1次データ		(Excel 形式)		
観光客向け再来訪意向 度等調査 1次データ	4 (3) エ	電子データ (Excel 形式)	各 1	令和 6 年 3 月 31 日
日本人観光客数の推計 ダウンロード (1 次) データ	4 (4) ア	電子データ (Excel 形式)	各 1	○月ごと (計 12 回) ・期限は HIT より指示す る。 ○過去分 (1 回) ・期限は HIT より指示す る。
日本人観光客数の推計 に係る加工データ ※項目ごとに 1 つのフ ァイルとすること	4 (4) イ	電子データ (Excel 形式)	各 1	○月ごと (計 12 回) ・期限は HIT より指示す る。

※1次データについてはクリーニングを行い、ピボット集計や Tableau への取り込みが可能な形式で納品すること。

(2) 項目の集計・データ分析分

名 称	説 明	納入媒体	部数	納入期限等
インターネットを用い た観光消費額単価等調 査集計表 (調査項目ごとに、回 答数、日程、居住地、 調査地点の各回答数値 等をまとめたもの) ※四半期分及び1年分	4 (1) イ	電子データ (Excel 形式)	各 1	○四半期ごと ・ 4～6 月分：7/31 ・ 7～9 月分：10/30 ・ 10～12 月分：1/31 ・ 1～3 月分：3/31 ○1 年分 (令和 5 年 1～12 月 分)：3/31
県民向け観光振興に関 する住民満足度調査集 計表	4 (2) エ	電子データ (Excel 形式)	1	令和 6 年 3 月 31 日
観光客向け再来訪意向 度等調査集計表	4 (3) エ	電子データ (Excel 形式)	1	令和 6 年 3 月 31 日
日本人観光客数の推計 結果	4 (4) ウ	電子データ (Excel 形式)	各 1	○月ごと (計 12 回) ・期限は HIT より指示 する。 ○1 年分 ・期限は HIT より指示 する。
調査報告書	4 (5)	電子データ	1	令和 6 年 3 月 31 日

※納入期限が閉庁日の場合は翌開庁日とする。

6 成果品の納入場所 HIT 執務室

7 成果品の帰属

本業務で得た全ての成果品については、HIT に帰属する。

8 業務実施上の条件

- (1) 受注者は、契約締結後速やかに本業務の担当窓口及び担当者、責任者等の業務実施体制を明記した資料、並びに実施スケジュールを作成し、HIT の承認を得ること。なお、担当窓口及び担当者、責任者のうち1名以上、統計全般における専門的知識や、調査分析に係る業務経験を有する者を配置すること。
- (2) 業務実施にあたっては、HIT と協議の上で行うこととし、作業の進捗状況について月に1回以上協議の場を設け、報告を行うこと。
- (3) 本業務の実施にあたっては、GPS を活用した人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」を利用する。当該サービスの利用にあたっては、HIT が別途示す利用約款等を遵守の上、業務を遂行すること。
- (4) HIT は、調査の実施状況を把握又は検査するため、業務の実施状況に関して報告又は立入検査を求めることができる。
- (5) HIT は、業務の実施にあたり、受託者が必要とする資料や情報等の提供を行う。
- (6) 受託者は、委託業務上発生した事案や事故については、大小にかかわらず HIT に報告し指示を仰ぐとともに、早急に対応を行うものとする。
- (7) 本業務の業務委託契約書には、委託料の内訳（インターネットを用いた観光消費額単価等調査、県民向け観光振興に関する住民満足度調査、観光客向け再来訪意向度等調査及び日本人観光客数の推計の4項目）を明記することとする。
- (8) 受注者は、本業務の全部を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。
- (9) 受注者が本業務の一部を再委託する場合、事前に発注者に対して書面にて、再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、その他再委託先に対する管理方法等必要事項を提示し、承認を得ること。また、再委託範囲は、受注者が責任を果たせる範囲とし、再委託先に問題が生じた場合は、受注者の責任において解決すること。
- (10) 成果品等の引き渡し後、1年の間に、納品物等に瑕疵がある場合は、発注者と協議の上、修正等必要な措置を受注者の負担により講ずること。
- (11) 受注者は、本業務の目的や意図を十分に理解した上で、誠意をもって業務を遂行すること。
- (12) 受注者は、関係法令を遵守し業務に当たること。
- (13) 本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じた場合は、発注者及び受注者が協議の上、定めるものとする。